

市民活動実態調査(アンケート)自由記述抜粋

〈問12〉団体として困っていること・課題と感じていること上位3つの具体的内容・対策

〈1. 関係団体・機関等とのネットワークづくり〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|--------------------------------------|
| ① | 地域包括等との連携 | |
| ① | 地域住民の合意形成を進めるために核(key)となる自治会の機能を働かせる難しさ。 | 自治会の会長、役員や住民(への直接)への情報伝達をねばり強く繰り返す。 |
| ② | 市民の方や、市の団体機関の方々とつながりがもちたい。 | |
| ② | スポンサーをふやすこと | 検討中 |
| ② | 自治会、福祉会等地域団体との連携 | 高齢者同士の関係であまりうまくいかない。一部箕面東高校と連携。 |
| ② | ネットワーク | 団体セミナー等への参加 |
| ③ | 協力関係をつくりやすい団体と作りにくい団体がある。 | 協力しやすい団体と関係を深め、しにくい団体にも粘り強く打診を続けている。 |
| ③ | 行政や市民団体、山林所有者等のプラットフォーム作り | 明治の森箕面自然休養林管理運営協議会の開催など |

〈2. 各種の申請手続きや報告書類の作成〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|-------------------------------------|--------|
| ① | 行政からの補助金は貰える事になりましたが、報告書類の作成が大変難しい。 | |

〈3. 会則など会の運営ルールを整えること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|---------------|-----------|
| ① | 行政への提出書類の確認 | 行政書士等への依頼 |
| ③ | スポンサー料、運営料見直し | |

〈4. 組織内のコミュニケーションに関すること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|----------------------------------|
| ① | 会員等への運営等の説明を徹底 | 役員会議後即会員への連絡周知徹底 |
| ① | 多忙な会員・事務局員が多く、集まりを持ちにくい。 | 今のところメールなどで連絡を取り合っている。 |
| ② | 団体のミッション、地域の課題、組織内の情報共有する | メーリングリスト、スタッフグループの作成、SNSの活用 |
| ② | 会員相互の理解、組織運営への参加 | 部会制を導入し、会員の意見を反映させている |
| ② | 会議やイベントの際に現会員の3割の人たちしか集まらないので、なかなか会員同士のコミュニケーションが図れない。 | |
| ② | 会員の活動率は60%強。交流する人が限定的 | 情報紙等の発刊を通じ、情報を共存する |
| ② | 情報の共有など | 会議の場に参加してもらう |
| ③ | 会報などが無い。一部の会員とだけ活動している。 | メールで配信 |
| ③ | 世代間や個々の認識に大きな開きがある。 | 会議を定期的に行う |
| ③ | 組織内コミュニケーション作り | 反対もあるが、メーリングリストによるメールを検討したい。 |
| ③ | | 上司と部下、部門間の垣根を省き、横断的なチームビルディングを強化 |
| ③ | 人間関係で一言「ありがとう」が大事 | |

〈5. 会計管理や税務に関すること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|-----------------------|---------------------------|
| ② | 収入がいつも少ない | 受託事業費を増やしたい |
| ② | 会計からはいつもお金はありませんと。 | |
| ③ | 市販のソフトを購入して対応しているが力不足 | 指導者を求めて事業をやっている人と協力を求めている |

〈6. 労務に関すること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|-------------------------|------------------------|
| ① | 会員の増員 | 増員のための催事の開催 |
| ① | ユニオン組合に入った人がいて対応に苦慮している | 弁護士、労務士に相談 |
| ② | 就業規則の整備 | 社労士への依頼を検討するが費用が捻出できない |

〈7. 活動を支える人材の育成〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|--|
| ① | 会員の高齢化、役員引継手不足 | 検討中 |
| ① | 人材難(特に若い世代) | 対策が見えない |
| ① | 長年実施してきた事業を真の意味で任せられる人材が必要 | 事業への関わりを全般的に担当し、経験をふやしてもらう |
| ① | 主たる活動員の高齢化 | 会員へ協力の要請 |
| ① | 事務作業や雑務などをもっと分担したい | 障害のある人にも仕事を担ってもらう工夫が必要 |
| ① | 活動する人がかたよっている。高齢化が進んでいる。 | |
| ① | 新入団員の獲得 | |
| ① | 会員の年齢が70代が中心になって来ている為、役員のなり手がない。 | |
| ① | 役員、世話人の選出と使命感の持続が課題 | モチベーション管理の徹底 |
| ① | 活動を支える人材の高齢化 | 事業実施等の人材育成など |
| ① | 親子が毎回60～150人程参加してもらっているが、中心となるスタッフメンバーが減少している。 | |
| ① | 知識経験豊富な人が他の団体とダブリ参加が少ない | テーマを決めて参加をお願いする |
| ① | 会員の高齢化 | 若い世代の取り組み方を模索している |
| ① | 実行委員の数が少なく個人にかかる負担が大きい | 公共施設の募集冊子に掲載、HP等での呼びかけ |
| ① | 発足当時のメンバーが多く、若い人の参加が少ない | 自治会等の会合で若い力の必要性を説明するも? |
| ① | イベント参加を通じて会員を募集している | |
| ① | 30～40代の人材が少ない。スキルアップが促進しない。 | 広報紙・放送での募集、知識・技術の獲得チャンスの提供 |
| ① | 安定的な事業運営のため職員体制(量・質共)構築が最大の課題 | 有能な人材の継続募集、現職員の指導・育成 |
| ① | 活動の意思は有るが、家庭に時間を取られ(孫の世話、定年で家にいる事の多い夫の世話)等々(むずかしいです) | |
| ① | メンバーの高齢化 | 若いメンバーの育成 |
| ① | 主力メンバーが高齢化しているに反し、若い人の入会が少ない。 | 妙案がない。 |
| ① | イベントの開催は10回を数えることが出来たが、今後の継続が課題となっています。 | 行事やイベントに限定してサポーターを募っていますが、恒常的にサポートできる方を求めています。 |
| ① | 実質上一人でやっている。 | 企画～実行を協働してくれる人を探している。 |
| ① | 話を聞きたい人ばかりで、主体的に調査・研究・情報収集できる人材がいらない。 | 調査・研究・情報収集の方法を伝授する、関心ある人を見出す |
| ① | 会員の高齢化 | 若者育成 |
| ① | 優秀な人ほど、子育てがひと段落するとフルタイムジョブで抜けてしまう。 | ひとが変わるたびに1から同じ話をするしかない。マニュアルを作ってはいる。 |
| ① | 現会員の高年齢化 | 特になし 自然減少 |

| | | |
|---|---|---|
| ① | 人材の育成には年数もかかり、経済的にも負担があり、若者が学ぶにはいろいろと障害があります。 | 指導者育成セミナーコース等へのお誘い |
| ① | 中心で活動している人が高齢化している | メンバー1人1人の人材ネットワークに頼る |
| ① | 前身であるグループからだ20年経過、高齢化がすすむ/しばらく参加できた若年者は社会に出ていき参加期間が短い | 知人をとおし、夏休みなどにこどもの参加を催しているが、むずかしい |
| ① | 高齢者の方が若年層より多いので後進を育成していきたい。 | 毎月1回「もみじだより」に掲載して公開し、会員外の参加を募集しつづけている。年1回のイベントでパネル展を1週間行い、来訪者に説明・募集 |
| ① | 出産・育休後 仕事に戻る女性が多く活動を支える人材の育成が困難になっている。 | 子育て支援センター「ひじり」にごあいさつに行き、活動の紹介を依頼。快諾。2015年3月に出張ミーティングの予定。 |
| ① | 会の運営に関わる人のなり手が無い。 | 時期の中心メンバーの育成 |
| ① | 企画や事務の担当が常時不足 | 積極性のある人材を待つしかない |
| ① | 高齢化 | 若い会員の入会促進 |
| ① | 人材育成そのもの(人材不足)後継者育成 | |
| ① | 人口減少と高齢化で会員減になっている | 料理講習会、家事家計講習会などを行い、広報、啓発し新入会を望んでいる。 |
| ① | 給与の増加 | 利用者を出来るだけ増やす努力をしています。 |
| ① | 会員の死亡等による人員の減少 | |
| ① | 会員と役員との固定化(役員の出候補者が出ない) | イベントを積極的に展開して、知名度、活動を知らせる。 |
| ① | 特に、次期役員を担える人材の不足 | 役員選出方法の会則是正 |
| ① | 専門的知識・経験の不足 | 会議を可能な限り行いスキルの向上を図る |
| ① | 活動の人材が集まらない | 口コミで活動の輪を広げる |
| ① | | チームリーダーの登用、人材育成の為に長期インターンシップ、研修の派遣など |
| ① | 人材が無い | |
| ① | スキルを上達させること | ボランティア同士でチェックしたり、他の自治体や国のHPを参照 |
| ② | 依頼を受けるための人数に余裕が少ない | 公開講座・研修などを充実させる |
| ② | 支援を必要とする当事者が地域であまりまに暮らしていくために、という視点を共有できる人材を育成すること。 | 講師への声かけ(お誘い) |
| ② | ボランティアサークルなので、強制できない | 府の講習会に参加をうながす。 |
| ② | 若手会員の減少 | 親子連れで参加できるイベントを増やし、会への参加を呼びかける。 |
| ② | 若い後継者を育てたいが、定着しにくい。 | できるだけ、活動に参加してもらおうよう考えている。 |
| ② | 新しい会員の獲得、会員の高齢化 | 会報・ホームページの充実化、イベントの開催継続拡充 |
| ② | 積極的に役員を続けてくれる人が少ない | 活動を理解してもらってお願いするくらいしか・・・ |
| ② | 人集め | 月に1回の会議 |
| ② | 愛好家が少ない。 | 市民教育の場を広げる。 |
| ② | 会の中心となってまとめる役のリーダーの後継者養成が遅れている。 | 名案はない。 |
| ② | 活動を支える人材の育成 | |
| ② | リーダーとする人や役員になってくれる人がいない | 機会のある毎にお願いベース |
| ② | 役員を増員 | 人材育成、意識の植付 |

| | | |
|---|-------------------------------------|---------------------------------------|
| ② | 介護を必要とする家族がいる人が多く、なかなかやりたくても時間が許さない | 活動を一般の方にも周知してもらい、増やす。 |
| ② | 活動を支える人がボランティアである | 講演会、勉強会に参加、資格取得の為に学校へ行く。 |
| ② | きれいな仕事ではないので参加者が少ないこともある | 多くの小中学生は体験をとおして活動を評価してくれるので少し期待している。 |
| ② | 自治会共々に合意形成の核として住民の意見をまとめる世話役をつくる。 | 世話役会での情報交換、住民への情報伝達ツール作成で活動を活性化 |
| ② | 会員が多様な活動を独力で進める力をつける | 協力作業、連絡会(定期ほか)、情報交換一般等 |
| ② | 障害のある人の生活を支えるヘルパー不足 | 広報(新聞折り込みやチラシの配布、口コミ)・労働条件の整備 |
| ② | 中心的存在者の高齢化、世代交代 | 日々の仕事に、おわれて、対応ができていないが、友人に声をかけてみたり・・・ |
| ② | 親の高齢化と共に本人の余暇活動の支援が困難となってきている。 | ボランティアの方々の支援を強く求めます。 |
| ② | 活動を支える役員クラスの育成(特に会長後継者) | ? |
| ② | 子供への対応のスキルを磨く | 学習会への参加 |
| ② | サークル活動日以外のイベント等への担い手が少ない。 | 他サークル(北摂)との交流やイベントへの参加をすすめる。呼びかける。 |
| ③ | 各種団体の育成のためのコーディネーター | 検討中 |
| ③ | 職員教育(理念・ノーマライゼーションなど) | まだ形式ができあがっていない |
| ③ | 現会員の9割が高齢者の為、以前のような積極的な活動が出来なくなっている | |
| ③ | 活動会員の増員 | 機会作り |
| ③ | スタッフの高齢化による活動範囲の減少 | 活動に参加してもらえる人材の確保 |
| ③ | 社会課題、地域課題の解決に必要な人材の掘り出し | 人を巻き込む魅力的なイベントや、民間企業や大学とのコラボレーション |

〈8. 会員・ボランティアの募集や対応〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|---|
| ① | 実質活動できる会員が少ない | 積極的に関係機関とのネットワークをはかる |
| ① | 会員の高齢化が進み人数が減少している | 後継者を見出すべくPRするも結果が出ていない |
| ① | 認知度が低い | 講座を開催し広める。 |
| ① | 会員の高齢化と会員数の減少 | もみじだよりやFMみのおの活用 |
| ① | 会員数が増えず高齢化していく | 近隣の住民への声かけ。子どもと親の参加をアピールする。 |
| ① | 会員の高齢化による、会員の減少 | 地域密着型の活動により、地域の若者に呼びかける。 |
| ① | 団員となる子供が年々減っている | 団員募集の告知 |
| ① | 参加者の増・スタッフの拡大、 | 各人より声かけして、増員を図ること |
| ① | 新規会員が増えない | 月1回家族相談日を設けており、その際に相談者に対して家族会の団体の説明をしている。 |
| ① | NPOサポーター情報誌への掲載 | |
| ① | 会員の高齢化が進んでおり、新入会員を増やしたいが容易ではない。 | 市民活動センター(「サポーター情報誌」等)やMAFGAの協力が必要 |
| ① | ボランティアの募集 | ボランティアをしている方へ呼びかけ |
| ① | 若い会員の募集 | 会員からの勧誘、口コミ |
| ① | 新規会員作りの効果的手法がなく(過去からの経験)、会員からの勧誘活動に頼っている | |
| ① | 会員数がじり貧で会費収入が減ってきている。 | 他団体より紹介をいただいたり、観察会の一般参加者を勧誘 |

| | | |
|---|---|---|
| ① | 高齢化しているので、若い方の参加を望んでいます。 | 活動の中でPR 声かけしている |
| ① | 会員数を増加する | 会員募集のチラシ作成・市民活動センターのボランティア活動紹介行事参加、ロコミ、箕面シニア塾、他団体への出前講座 |
| ① | 会員の募集 | 常に門戸を開き各会場(5か所)で随時体験可能としている他、年数回の無料・有料の講習会を開催 |
| ① | こども会会員の減少 | 行政との連携 |
| ① | メンバーの減少と出席人数の増 | 検討中 |
| ① | 会員の高齢化に伴い会員数の減少と活動を考える人材が乏しくなり会の存続に危惧を感じている | 障害者人口が増えているのに入会者がいない、会の歴史や活動を紹介、啓発出来る場の構築 |
| ① | 現会員様の高齢化に伴う参加頻度の減少 | イベント等による広報活動による新会員様の募集 |
| ① | 自分たちの活動について知らない方が多い | 子育て支援センターへチラシの配布や掲示 |
| ① | 会員を増やしたい | もっとクラブの存在を市民に周知したいが、難しい。 |
| ① | 会員募集が困難 | 協議中 |
| ① | 学生ボランティアの確保(授業・卒業等で安定しない) | 学校への要請 |
| ① | 会員が高齢になってきた | 講座を行って募集している。 |
| ① | 新しい会員が増えない。 | 手話奉仕員養成講座 受講生との交流、サークルへの呼びかけ。 |
| ② | 正会員・サポート会員・ボランティア | 検討中 |
| ② | 募集するも人員が増えない | |
| ② | 新規入会昨年度3家族有り夫妻と子供等会員は増加していますが現役世代の為に平日の作業が出来ない、役員の依頼がむずかしい。 | |
| ② | 会員活動に参加する人が決まって、新しい人がいない | 会の活動方針、実績をPRしていく |
| ② | 資格保有者がだれかつかめないこと | ホームページの開設 |
| ② | 会員が増えない | 学習会などで呼びかけ等 |
| ② | 廃布を使って物づくりをする人が確保できていない。 | 今後各所への人材募集を行う |
| ② | 箕面市の広報紙のみでのボランティアの募集のみ | 他にもそのような事をしていただける所を探す |
| ② | 近隣者へのポスター掲示・チラシ配布等。 | イベント開催時の参加者募集のチラシ配布等。 |
| ② | 新規加入者が無いこと | 月次活動時に一般参加者へPRするが関心が低い |
| ② | 出前授業をする場合一時に20人前後のスタッフが必要 | 阪大生や教職経験者を訪ねて勧誘 |
| ② | 人口減少と高齢化で会員減になっている | 料理講習会、家事家計講習会などを行い広報、啓発し、新入会を望んでいる |
| ② | 参加者募集時に連絡先が個人の電話になってしまう。 | 対応策が無く、困っている。 |
| ③ | イベント時のボランティアスタッフが必要か | 他の団体と共催など積極的に取り組みたい。 |
| ③ | 人手不足 | サポート情報誌へ掲載 |
| ③ | 参加者が少ないのもっとたくさんの方に知っていただきたい | いろいろな所にチラシをおいていますが、なかなかふえません |

| | | |
|---|-------------------------------|--|
| ③ | 当事者、家族だけでなく、多くの人に周知してもらいたい。 | 公演活動、講習会などで、どういう生活をしているのか、どんな助けがしているのかを多くの人に周知してもらう。 |
| ③ | ボランティアさん不足 | 広報(ボランティアセンターへの登録・自治会へのチラシ配布) |
| ③ | 若い世代にも参加、協力を得たい | 口コミなど |
| ③ | 会員が増えないので、会費や会員の個人負担(臨時)が増える。 | もみじだより、メンバーの友人・知人への声かけ、地域イベントへの出演。 |

〈9. 助成金(補助金・支援金)の獲得〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|---------------------------------|
| ① | 市の窓口は部課員の異動が多いので、その都度協力関係をつくるのが大変 | 地道な接触、事業内容の説明、これまでの経緯の説明 |
| ① | 毎年2回手渡す義援金の確保 | 関係団体のホームページに活動内容を掲示依頼 |
| ① | 継続的に得られる資金の不足 | 当面、単年度助成金に申請しながら自主事業収入増を図る |
| ① | 事業所制度の存続、補助金の削減 | 市との話し合いで、制度を存続するよう、しつこく要求している |
| ① | 活動不足 | |
| ① | 現在、収入の8割を会員の個人負担でまかなっている | 昨年9月に夢の実支援金を申請し、獲得することができました。 |
| ① | 会員募集 | フェイスブックでの募集 |
| ① | プロに依頼をしているので半日●万円は支払う必要があるが、現実には●円程しか支払えない | 単価を値上げし、対応しているが助成金がほしい |
| ② | 獲得が出来ない | |
| ② | 定期演奏会の経費の獲得 | |
| ② | 助成金の獲得 | 今後継続するために模索中 |
| ② | 国や自治体から助成を受けていない。 | 公的助成をしてもらいたい。 |
| ② | 中長期施策のキメ細かい策定と見直しが必要。 | シームレスな実行力と計画性のマッチング |
| ② | 様々な助成金に応募し、活動資金を確保していきます。(門戸拡大) | そのための活動面の充実と書類作成能力の高い方が必要です。 |
| ② | 過去に小額頂いたことがあるが、申請報告が煩わしい。 | より多額な助成金を支給されるところを探している。 |
| ② | 助成金の継続 | |
| ② | 「活動を支える人材の育成」と同じで学ぶ為お金もいります | 助成金などあればありがたいです |
| ② | | 財政マネジメントできる人材の育成、収入に見合った給料体系の導入 |
| ② | 製作費が材料費しか頂かないので、活動資金が不足している。 | 助成金の申請をしているが、全て失格。 |
| ③ | 初心者セミナーへ助成(入門講座) | |
| ③ | あてはまりそうな募集のものを探し応募 | 書類を書ける人材がいらない |
| ③ | 手続き事務対応する人がかたよっている | |
| ③ | 現在助成金の交付を受領 | 出来る限りの持続をお願いしたい。 |
| ③ | 相談会、現地相談会への移動費等が会員の持ち出し | 市の補助制度の活用を今後考える |
| ③ | | 活動の意義内容のPR |
| ③ | 収入源がほとんど会費に限られている。 | 収入源の多様化に努める。 |
| ③ | 行政とのコラボレーション | 新しく魅力的な企画の立案、市民へ向けての活動を計画 |
| ③ | 大阪コミュニティ財団、セブンイレブン基金、山麗ファンド等の申請 | 一応、継続できているが、今後が不安。 |

| | | |
|---|---------------------------------|---|
| ③ | 現在白黒の会誌をカラーにしたいがコピー代不足 | 現在のところ無し |
| ③ | まちづくりのための合意形成などを活動への理解を深め助成金を得る | 活動目標の妥当性、活動の進捗・成果を正しく伝達して合意を得る。 |
| ③ | 箕面市からの助成金、使用ルール | 「年度」の活動に対する助成金が承認時期遅れの為、年度途中以降の支出に対する経費のみをカバーする制度→申請時期を早める。 |
| ③ | 会費だけでは不十分であり、収入源を増やす | 適当な助成金が見つからない |

〈10. 物品の調達〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|-------------------------------------|---------------------|
| ② | バザー用品をたくさん集めること | 機関紙による情宣、チラシ戸別配り |
| ③ | 各機材が高価な為、なかなか整備が進まない。 | 事業委託による入金増、費用対効果の精査 |
| ③ | 活動に必要な機器をメーカーが作らなくなって、作業に時間がかかる。 | 別の機器を使って対応している。 |
| ③ | 製作に必要な材料が近隣の店にない。(以前はあったが現在は無くなった。) | 使用材料の材質の変更を検討している。 |

〈11. 寄付集め(クラウドファンディング等)〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|------------------------|-----------------------------|
| ① | 管理費をはじめとする活動資金の確保 | 検討中 |
| ② | 賛助会員募集なかなか集まらない。 | 元会員を中心に子どもに関わる事に興味のある人への声かけ |
| ② | 資金枯渇 | 募金など |
| ② | 事業資金の不足 | 相当額の寄付をお願いしているが集まらない |
| ② | 多忙で手つかずだが、必要性を感じている | 検討中 |
| ③ | 寄附サイトに応募したが、集めるのはむずかしい | ひき続き、チャレンジしながら研究する |
| ③ | 一般の人や企業などからの寄付が少ない。 | 寄付への税制上の優遇措置をしてもらいたい。 |

〈12. 活動場所や拠点の確保〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|-----------------------------|
| ① | 現在、企業のスペースを借りて講座を開いているが、限られた日時でしか運営ができない。 | |
| ① | 活動拠点にさまざまな団体が入っていて確保しづらい。 | 団体専用の拠点づくりのために行政との交渉 |
| ① | 活動場所としては、現在の所は申し分ないが、今後さらにスタッフの人数や学習者を増やしていくとなると、場所や駐車場のことが問題となる。その対策は難しい。 | |
| ① | グラウンドでの夜間練習が出来ない(小・中学校) | 箕面市役所に夜間グラウンド使用の案件提出も、返答無し。 |
| ① | 演奏会場の確保 | 優先的に使えるように要望する。 |
| ① | 活動場所をふやす | ネットワーク 情報でなんとか |
| ① | 古民家などあるのですが高いので・・・ | 他府県もふくめ現地に行ったりしてます |
| ① | 場所(会議室or多目的室など)が一定しない。 | なし(箕面市の方針に従わざるを得ない。) |
| ① | ①毎回希望の貸室が取れる訳でない ②参加者が増えてきて手狭になってきた | 検討中 |

| | | |
|---|--|---|
| ① | 元々大阪内外で30年程活動している団体(今も)から、箕面市在住の者が集まって結成した会である。学校・施設等に出前したいが、その手だてが無く、今は会員達の勉強会のみになっている。 | 団体を紹介するリーフレットを配るが、今は効果を得ず |
| ① | 設立時と自分達のおかれている状況の変化があり、活動場所が家(代表宅)の為、負担に感じるようになる。 | 家を提供してくれる協力者をお願いするがうまくいかない。他の公共の場所も考えるが、家庭に勝るものはなく、はたして参加者が今まで通りあるとは考えられない。 |
| ① | 普段のミーティング場所が無く、特に作業が必要な時は有料の部屋を借りなければならない。講座開催時もまず部屋探しから始まり、部屋が決まらないと話が先に進まない。 | 対応策が無く、困っている。 |
| ① | 工器を充実したいが場所が無い | |
| ① | 練習場所の確保…音が出るとのことで場所の確保が難しい | 箕面市のコミセンでは音を抑え練習をしている。 |
| ② | シェルター不足 | 会員へ協力の要請 |
| ② | 公開抽選になり10~20%落選の場合の部屋探し | 近辺のコミセンにて対応 |
| ② | メンバーが多く(100~200人)、公共施設が使えないことがある | |
| ② | 予約・抽選に落ちると場所探しに苦労する。 | 3か月前の抽選を必ず出す |
| ③ | 練習会場の獲得 | |
| ③ | 空いている施設をお借りしている(無償にて) | 資金を集める為の起業塾等に参加し勉強中です。 |
| ③ | それぞれのイベントに合った場所の確保 | |

〈13. 団体の中長期方針をつくること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|-----------------------------------|------------------------------------|
| ① | 課題に向けて活動するNPO支援の方針 | アンケート実態調査を通して、具体的な支援のあり方を図る |
| ① | 対象者が特定できない | |
| ① | 活動範囲をどう広げるか | メンバーによる話し合い |
| ② | 各事業の将来設計がし辛い(経済的課題) | 議論の継続 |
| ③ | 本会の中長期展望の作成が急務 | 会員の親睦を図り各会員の意見を取り入れ自ら方向性を計画していくこと。 |
| ③ | 5年先、10年先のめざす形が、つかめないというか、はっきりもてない | できてないので、対策を考えないといけませんね。 |

〈14. 事業(活動)の企画作り〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|---|-----------------------------------|
| ① | HP構成、更新等 | 再度HPを作り直す |
| ② | 内容の斬新化を図ること | 検討中 |
| ② | 事業のマンネリ化 | 新しく魅力的な企画の立案 |
| ② | 何かイベントを開催した方が参加人数は多いが、具体的にどういう内容がよいかわからない | 会員へ聞いたり、前年と同様のイベントを開催 |
| ② | イベントで終わらない継続的な運営体制やNPOのスキルアップ | 効果的な講座、事務力アップの企画等 |
| ② | ニーズや方向性が特定できない | |
| ③ | 「まちづくり」という主題に対して新しいテーマの選択企画には時間がかかる | 専任担当チーム作り、集中的に企画立案していく |
| ③ | 毎回のイベント | 出来るだけ毎回同じ事ではなく楽しく、喜んでいただける内容としたい。 |
| ③ | バザーの企画、内容作り、カレンダーの販売戦略 | 会議の中で、皆で知恵を出し合う。 |
| ③ | ほとんど一人でやっている。いろんな方に相談しているが。 | |

〈15. 事業(活動)の周知・広報〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|---|---|
| ① | イベントを発信するためチラシの他SNSも利用していますがターゲットとしている人々に届いているのか？ | 子育てサークル参加者への声かけ ブログ等の更新など。 |
| ① | 組織の充実 | 人材 |
| ① | 活動に無関心が多い | 地域運営及び企画活動をしている |
| ① | 市広報では3ヶ月に一回しか相談日を周知できないこと。 | 市広報に毎月掲載できるよう努力したい(専門家欄に) |
| ① | 講演会の広報と特に集客 | 広報はチラシ・メール・FBで出来る限り行っている。 |
| ① | ホームページでしか広報していないので認知不足 | ニュースレターの配布で広報 |
| ① | 箕面市には自分たちの支援を必要とする方が多くいらっしゃるにも関わらず、その存在を知らず(市が説明をしていない)利用者さんが少ない。もっと利用者さんが増えてほしい。 | 会員や利用者を増やすため、勉強会や講習会を行っている |
| ① | 私たちの活動を知ってもらい賛同者をふやすこと | イベントを広く呼びかけ会を知ってもらう機会をふやしている |
| ① | 色々な方の悩みについて相談にのる | 公民館や病院薬局にチラシを配り、市報に広報する。 |
| ① | 活動の周知、広報に限りがある | 現在、募集のチラシ配布(できるだけ広範囲に) |
| ② | 公共の施設等使用料有無の場所を有効活用すること | 研修会等参加が会員自身の成長につながることを周知 |
| ② | 小学生による川清掃 | 河川敷、川の中のゴミ拾い等を広報として掲げて欲しいです。 |
| ② | ポスターに掲載 | |
| ② | イベント参加を通じて会員を募集している | |
| ② | 活動の周知、広報ができていない。リーダーが全員常勤(正社員)フルタイム勤務の為多忙。 | できればインターネットを活用したPRを増やしたいが、時間をつくれずにいる。実際に参加者が増えるきっかけは口コミが多い。 |
| ② | 活動の周知・広報 | 非営利組織だが、もみじだより他、活動内容や広報について制限が多く、自由な発信の機会が開かれている |
| ② | 活動の周知、広報 | メディア・ネットも取り組みを始める(フェイスブックなど) |
| ② | イベント・印刷物等による広報を行うも期待通りの効果が生じない | 口コミも含め、より効果的な方策を模索中 |
| ③ | 自分たちの取組を現在業務として行っていない事業所に広く周知し、担い手をふやすこと | リーフレットや案内の送付をした |
| ③ | 市民展、選抜展等へのPR | 広報の充実を図るべく、情報媒体を研究、現行のPRの具体的な検証、改善 |
| ③ | 活動の広報手段が限られている | ホームページの活用 |
| ③ | インターネット以外の広報手段が弱い。市民センターの掲示やチラシはtelが必要だがコールバックする資金がないため活用できない。 | |

〈16. 国・自治体等の制度に関すること〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|---------------------|---|
| ① | 国の制度が良い方向に変わっていかない。 | 地道に研修を続けてすそ野を拓けながら国に訴えていきたい(訴えかけはあまり出来ていない) |

| | | |
|---|--|--|
| ① | — | — |
| ① | 支援が必要な人が増えていく一方、制度が追いついていない | 訴えていければと思っています |
| ① | 箕面市には自分たちの支援が必要な方が多くいらっしゃるはずなのに、そのサービスの存在をお知らせしていない。 | 個人情報などにより、私達のグループが直接支援が必要な方へのコンタクトを取れないので、行政の方から窓口での説明などもっと広めて欲しい。 |
| ③ | — | 他団体と連携して行政や業界に要望したり、広報に努めている。 |

〈17. その他〉

| 順位 | 具体的内容 | それへの対策 |
|----|--|--|
| ① | まちづくり・・・自分たちが愛する地域がどのように変化(進化)していくのかわからないことが多い | |
| ① | 活動できる環境が整いにくい(通院や調整等当事者家族なので) | 細かい活動になるが、今の現状の活動の維持 |
| ① | 物品を入れている倉庫がいっぱいいっぱい、新作をつくる度古いものを捨てるか、各メンバーの家で持ち帰って保管しているが、今も活動の度、出し入れの大変な状況です。 | |
| ① | 「特別な人」「自分と関わりがない人」と思われてしまう。 | 地域の人と出会い交流できる場所を開所 コミュニティカフェ運営等 |
| ① | 収入に対する支出料の多さから、経済的な問題で人材確保が困難 | 打つ手立てがない |
| ① | 会員の減少 | |
| ① | 音の出る活動のため使用可能な施設が限られ、3か所の施設を転々とし落ち着かない。 | この様な紙面で、課題として訴え続けている。 |
| ② | 未就園児以下の子どもを持つスタッフが少なくなっている。 | |
| ② | 必要なスキルを持った講師 | 大分県に日本でただひとつの学校があります。メンバーで入学したい人がいる。 |
| ② | 優秀な人ほど、子育てがひと段落するとフルタイムジョブで抜けてしまう | 個人的に知人に頼んで安くしてもらっているが、不安定 |
| ② | 現在は年1回こちらから申しこんで役所でミーティングするのが精一杯 | もっと積極的に働きかけたい。現在は現地を実際に訪れてくれるよう申込み中だが課が多忙でなかなか受理しない。 |
| ② | 会の中心メンバーの次に続く世代の層が薄い | 若い人の参加しやすい企画を増やしていく |
| ② | 駐車場代金が高い。 | 午前＝100円・午後＝100円 計200円へ。現在700円。 |
| ② | 音の出る活動のため、安価で借りられる公共施設がほとんどない。・練習が月曜日なので、公共施設の内使用可の場所が休み | 箕面市が練習場所を安価で提供して欲しい。 |
| ③ | 情報を世界に発信したい。 | ボランティア募集を呼び掛けている |
| ③ | 道路の開通による環境汚染の危険性 | すでに箕面市道路課に申し入れをした。(ごみ増加の防止と生き物環境への悪影響がないよう配慮してほしい) |